

ハイキング部だより

第180回



平成30年(2018年)10月14日(日)、15日(月)一泊2日

～ 淡路島〈岩屋〉ウォーキング、明石海峡の風に誘われて

行程:1日目(14日)

舞子駅～高速舞子(高速バス)～淡路IC～淡路サービスエリア～長谷大橋～長浜商店街～道の駅あわじ～岩屋商店街～殿場坂(どんぼざか)～石屋神社～恵比須神社～岩屋ポートビル(高速艇)～明石港～山陽明石駅(電車)～舞子駅～ホテル〈舞子ビラ神戸泊〉歩行距離 約6キロ

行程:2日目(15日)

ホテル～舞子公園～アジュール舞子～JR塩屋駅(解散)歩行距離 約5キロ

参加者 14名

10月14日から15日にかけて一泊二日で第180回記念ハイキングを14名参加で実施しました。秋本番の10月14日、日曜日とあって淡路サービスエリアは大勢の行楽客でいっぱい、間近かに明石海峡大橋、向かいに須磨、明石の街並み、その背後に六甲連山を眺めながらしばらく休憩した後、県道バイパス31号線を約1時間あるいて「道の駅あわじ」に到着、ここも沢山人出で、名物の「シラス井」に長い列ができていました。

昼食をとったあと今は全くお店のない長浜商店街を歩き、次いでスーパーやパチンコ屋など少しは店舗が残っている岩屋商店街を歩いてどんぼ坂を登り石屋(いわや)神社に参拝、石屋神社は、神功皇后が三韓征伐の折対岸の明石、垂水の浜で風波に会われ渡海に難渋し風待ちのため岩屋に着岸、石屋明神に参拝し戦勝を祈願されたところ風波が止み海上は静まったといわれています。そのあと恵比寿神社に立ち寄りました。国生み神話によるとイザナギ、イザナミの間に最初に生まれた蛭子命(ひるこのみこと)が海に流され、流れ着いた西宮で「えべっさん」として西宮神社に祀られたとの伝説があります。

岩屋地区を一周したあと岩屋港15時20分発の高速艇ジェノバラインで明石港に向かい、魚の棚を通してJR明石駅から舞子駅まで行き「舞子ビラ」で一泊しました。懇親を深め、今後の計画など大いに語り合いました。

2日目は、舞子公園からマリンピア神戸、アウトレット、海神社を通して11時ごろ垂水駅で解散しました。





第180回ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 淡路島〈岩屋〉ウォーキング、明石海峡の風に誘われて ～

日 時:平成30年10月14日(日)、15日(月)一泊二日
10月14日(日)10時 「JR舞子駅」集合
(1日目の弁当は持参してください)

行 程:1日目(14日)

舞子駅～高速舞子(高速バス)～淡路IC～淡路サービスエリア～長谷大橋
～長浜商店街～道の駅あわじ～岩屋商店街～殿場坂(どんぼざか)～石屋
神社～恵比須神社～岩屋ポートビル(高速艇)～明石港～山陽明石駅(電車)
～舞子駅～ホテル〈舞子ビラ神戸泊〉歩行距離 約6キロ

行 程:2日目(15日)

ホテル～舞子公園～アジュール舞子～JR塩屋駅(解散)歩行距離 約5キロ

宿 泊:舞子ビラ 神戸市垂水区東舞子町18番11号(TEL 078-706-3711)

費 用:11,000円(宿泊費)費用は10月14日に徴収します
(高速バス410円、高速艇500円は各自負担)

第180回となる今回は、日本最古の文献「日本書紀」の国生みの神話に由来する淡路島を歩きます。

行きは、舞子から淡路サービスエリアまでバスに乗り淡路島北部の岩屋地区を歩き、帰りは、岩屋から明石までジェノバライン(高速艇)の乗船を楽しむコースです。

イザナギとイザナミの二柱の神様は、高天原の神々から国づくりを命ぜられ、天の浮橋に立ち「天の沼矛」で下の方をかき混ぜたところ矛の先からしずくが落ちそのしずくは固まって島となりました。この島を「おのころ島」といい現在の淡路島の南東にある[沼島]であるとされています。岩屋港のそばにある絵島が「おのころ島」であるという説もあります。

石屋神社は、イザナギ、イザナミ、クニトコタチノミコトの三柱の神様が祀られています。恵比須神社は、七福神の恵比寿様出生の地であり、ここに祀られています。國生み神話によると、イザナギ、イザナミの間に最初に生まれた蛭子命(ひるのみこと)が海に流され、流れ着いた西宮で「えべっさん」として西宮神社に祀られました。